

平成22年度 で どころ 「栗原市のお金の出所と使い道」

(栗原市予算概要)



(「市花・市木の記念植樹祭」から)

つく
「市民が創る くらしたい栗原」



はじめに

市民のみなさま、こんにちは。市長の佐藤 勇です。

平成17年4月に栗原市が誕生し早いもので6年目を迎えました。昨年は、平成20年岩手・宮城内陸地震からの「復興元年」を掲げ、私自らが先頭に立ち、その対策に全力で取り組んでまいりました。市民のみなさま並びに全国の皆様、関係機関のご協力に心から感謝申し上げます。あの震災からまもなく2年、今年度は「がんばろう 栗原」から「ありがとう 栗原」へと、復興への新たな決意と多くの支援に対する感謝を表すため、各種イベントを通して「栗原のおもてなしの心」を全国の皆様に発信してまいります。秋には、国道398号、県道築館栗駒公園線が全面開通いたします。花山側・栗駒側からの栗駒山登山やきのこと採り、世界谷地の散策など震災前の活力を回復し、新たな魅力を全国に発信し、栗駒山の魅力を存分に堪能していただきたいと準備を進めております。



また、昨年営業を再開した花山温泉温湯山荘の補助源泉として掘削した「よしの湯」は、泉温が「62.9度」、湧出量が「毎分395.9リットル」、泉質は「ナトリウム塩化物泉 弱アルカリ性」で腰痛、神経痛、リウマチ、皮膚疾患などに効果があるいわゆる「美人の湯」の掘削に成功いたしました。私は、この温泉が花山地区の活性化に留まらず、栗原市にとっての「希望の湯」になると信じております。

合併特例期間も10年間の折り返しを迎えました。近隣自治体に負けない住みよい活力ある栗原市を創るため、「一日一生」の思いで市政発展に取り組んでまいります。

さて、「栗原市のお金の出所と使い道」は、予算の仕組みや事業内容を「わかりやすく」、「見やすく」を心がけて作成したものでありますが、お気づきの点があればご意見などをお寄せいただきながら、「市民が創る くらしたい栗原」をともに築き上げてまいりたいと考えておりますので、市民のみなさまの更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成22年4月

栗原市長

佐藤 勇

～ 目 次 ～

はじめに

予算の概要と市政の基本的な目標	1
平成 22 年度栗原市各種会計 予算総括表	2
一般会計歳入・歳出の状況	3
事業別予算一覧	7
1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」	
(1) 豊かな自然環境と共生した生活を実現します	10
(2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します	11
(3) 安全・安心なまちづくりを推進します	13
2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」	
(1) 次代を担うたくましい子どもを育成します	14
(2) 人生を楽しむための実践機会を充実します	15
(3) 地域に根ざした文化の振興と歴史の継承を図ります	15
3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」	
(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います	16
(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくりまします	18
(3) 高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します	20
4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」	
(1) 栗原ブランドの形成と高付加価値の地場産品づくりに取り組みます	21
(2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します	22
(3) 地域資源を活かした交流人口の増加を図り栗原市を発信します	23
5 「市民がまちづくりを楽しめるまち」	
(1) 小さなコミュニティを大切にされた地域づくりを推進します	24
(2) 市民が自ら行うまちづくり活動を支援します	24
(3) 市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います	24
6 「平成 20 年岩手・宮城内陸地震」からの復興を目指します	25
7 特別会計・事業会計予算の主な事業	27
市民一人当たりの予算	29
資料編	31

予算の概要と市政の基本的な目標

1. 予算を作成するにあたって

市の予算は、生活基盤の整備を充実するために、道路整備や橋、福祉や教育施設などの、市政全般を運営するために使う会計（さいふ）を「一般会計」とし、国民健康保険や介護保険、水道や下水道、診療所運営などそれぞれ特定の目的のためにだけ使う会計を「特別会計」と区分けしています。

平成22年度の予算は、「栗原市総合計画」の実施や復興計画2年目を向かえる「栗原市震災復興計画」の実現を図るために、新たな事業として、地上デジタル放送移行に伴う難視聴地域の解消や自主防災組織のより一層の充実を図るために震災など災害時に備えるための備品購入経費のコミュニティ一括交付金への追加、若柳中学校や築館中学校などの義務教育施設の整備事業を実施するほか、震災復興事業として、施設の再開と地域の賑わいを一日でも早く取り戻すために、民間温泉施設への再建経費の利子補給金の補助などを実施してまいります。

2. 予算の概要

平成22年度一般会計の予算は、

387億5,200万円（対前年度2.8%、10億7,000万円増）

国民健康保険や介護保険、水道や下水道、診療所などのそのほかの特別会計をあわせると、

704億8,686万円（対前年度1.9%、13億4,623万円増）

市民ひとり当たり87万8千円になります。

（栗原市の平成17年国勢調査人口80,248人で算出）

また、予算をつくる上で基本となる大きな柱は、栗原市総合計画の基本目標である5つの分野と「栗原市震災復興計画を」合わせた6つの分野に分けて予算を組み立てました。

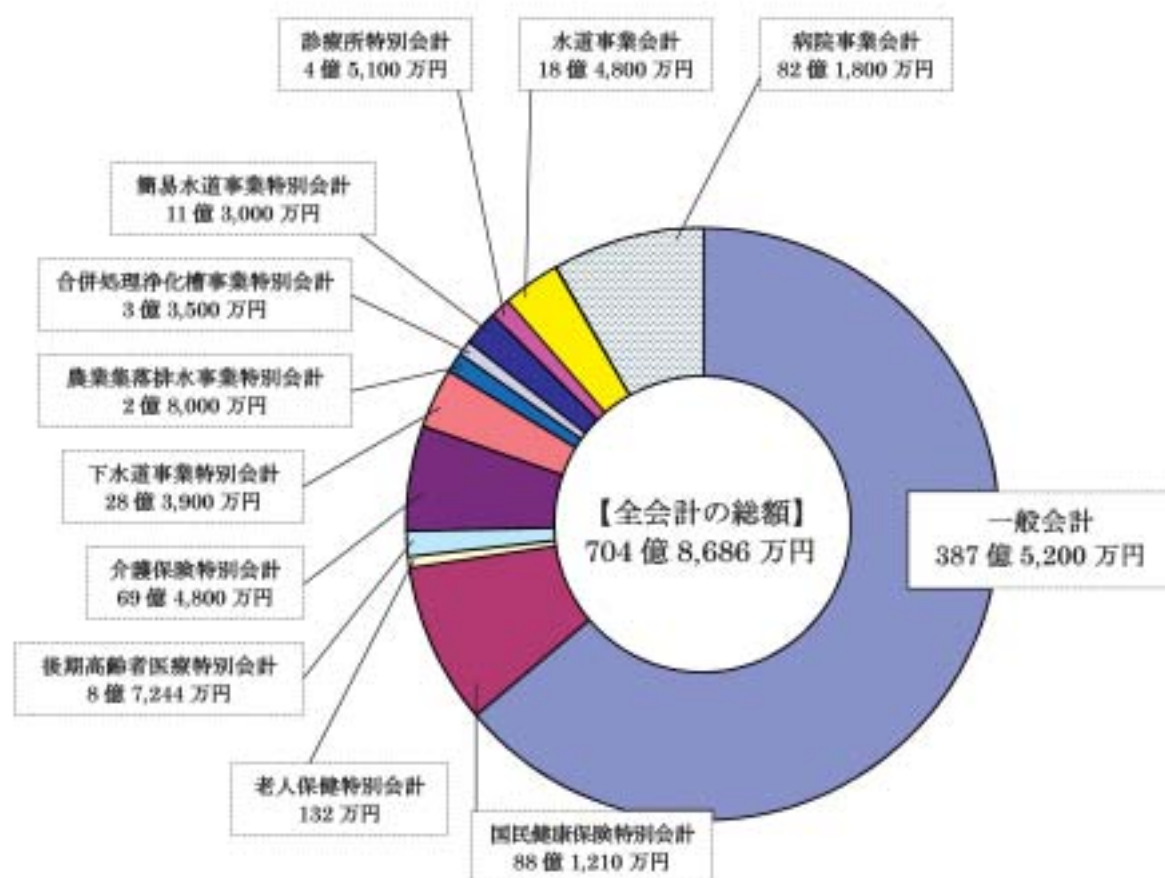
以下、分野ごとに具体的な予算の内容をご説明します。

平成22年度栗原市各種会計 予算総括表

会計区分		平成22年度予算額	平成21年度予算額	比較	伸率(%)
一般会計		387億5,200万円	376億8,200万円	10億7,000万円	2.8
特別会計	国民健康保険特別会計(事業勘定)	88億1,210万円	86億8,614万円	1億2,596万円	1.5
	老人保健特別会計	132万円	1,322万円	△1,190万円	△90.0
	後期高齢者医療特別会計	8億7,244万円	7億5,924万円	1億1,320万円	14.9
	介護保険特別会計	69億4,800万円	65億4,000万円	4億800万円	6.2
	下水道事業特別会計	28億3,900万円	29億8,800万円	△1億4,900万円	△5.0
	農業集落排水事業特別会計	2億8,000万円	3億3,000万円	△5,000万円	△15.2
	合併処理浄化槽事業特別会計	3億3,500万円	2億9,700万円	3,800万円	12.8
	簡易水道事業特別会計	11億3,000万円	14億6,600万円	△3億3,600万円	△22.9
	診療所特別会計	4億5,100万円	4億3,700万円	1,400万円	3.2
事業会計	水道事業会計	18億4,800万円	20億7,203万円	△2億2,403万円	△10.8
	病院事業会計	82億1,800万円	78億7,000万円	3億4,800万円	4.4
合計		704億8,686万円	691億4,063万円	13億4,623万円	1.9

※水道事業会計、病院事業会計は収益的支出及び資本的支出額を記載しています。

※老人保健特別会計は、後期高齢者医療制度に移行したために予算規模が大幅に縮小されています。



◎一般会計歳入歳出の状況

歳 入

区 分	平成22年度当初予算		平成21年度当初予算		比 較		【参考】 平成21年度6月補正後	
		構成比		構成比		増減率		構成比
市 税	65億6,001万円	16.9%	66億3,922万円	17.6%	△7,921万円	△12%	66億3,922万円	13.2%
地 方 譲 与 税	5億4,000万円	1.4%	5億5,400万円	1.5%	△1,400万円	△2.5%	5億5,400万円	1.3%
科 子 割 交 付 金	1,600万円	0.0%	2,000万円	0.1%	△400万円	△20.0%	2,000万円	0.1%
配 当 割 交 付 金	600万円	0.0%	1,260万円	0.0%	△660万円	△52.4%	1,260万円	0.0%
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	100万円	0.0%	200万円	0.0%	△100万円	△50.0%	200万円	0.0%
地 方 消 費 税 交 付 金	6億7,200万円	1.7%	7億 700万円	1.9%	△3,500万円	△5.0%	7億 700万円	1.6%
自 動 車 取 得 税 交 付 金	1億5,000万円	0.4%	1億6,440万円	0.4%	△1,440万円	△8.8%	1億6,440万円	0.4%
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	560万円	0.0%	800万円	0.0%	△240万円	△30.0%	800万円	0.0%
地 方 特 例 交 付 金	1億2,500万円	0.3%	1億 400万円	0.3%	2,100万円	20.2%	1億 400万円	0.2%
地 方 交 付 税	182億3,600万円	47.1%	180億8,600万円	48.0%	1億5,000万円	0.8%	184億9,200万円	42.2%
普通交付税	171億3,600万円	44.2%	169億8,600万円	45.1%	1億5,000万円	0.9%	173億9,200万円	39.7%
特別交付税	11億0,000万円	2.9%	11億0,000万円	2.9%			11億0,000万円	2.5%
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,300万円	0.0%	1,300万円	0.0%			1,300万円	0.0%
分 担 金 及 び 負 担 金	3億3,576万円	0.9%	3億3,085万円	0.9%	491万円	1.5%	3億3,085万円	0.8%
使 用 料 及 び 手 数 料	6億2,432万円	1.6%	6億5,682万円	1.7%	△3,250万円	△4.9%	6億5,682万円	1.5%
国 庫 支 出 金	38億3,626万円	9.9%	27億9,357万円	7.4%	10億4,269万円	37.3%	51億 21万円	11.6%
県 支 出 金	20億7,934万円	5.4%	26億8,754万円	7.1%	△6億 820万円	△22.6%	31億8,349万円	7.3%
財 産 収 入	8,290万円	0.2%	6,218万円	0.2%	2,072万円	33.3%	6,238万円	0.1%
繰 入 金	1,902万円	0.1%	3億2,174万円	0.8%	△3億 272万円	△94.1%	10億7,967万円	2.5%
諸 収 入	11億3,019万円	2.9%	11億 258万円	2.9%	2,761万円	2.5%	11億7,490万円	2.7%
市 債	43億1,960万円	11.2%	34億1,650万円	9.1%	9億 310万円	28.4%	54億6,450万円	12.5%
歳 入 合 計	387億5,200万円	100.0%	376億8,200万円	100.0%	10億7,000万円	2.8%	437億6,904万円	100.0%

歳 出(性質別)

区 分	平成22年度当初予算		平成21年度当初予算		比 較		【参考】 平成21年度6月補正後	
		構成比		構成比		増減率		構成比
人 件 費	85億8,830万円	22.2%	90億2,514万円	24.0%	△4億3,684万円	△4.9%	90億2,509万円	20.6%
物 件 費	54億5,974万円	14.1%	52億8,217万円	14.0%	1億7,757万円	3.4%	57億5,331万円	13.2%
維 持 補 修 費	3億1,557万円	0.8%	2億7,172万円	0.7%	4,385万円	16.1%	2億9,700万円	0.7%
扶 助 費	39億3,907万円	10.2%	30億9,130万円	8.2%	8億4,777万円	27.4%	31億 103万円	7.1%
補 助 費 等	39億 9万円	10.1%	35億7,679万円	9.5%	3億2,330万円	9.0%	39億5,371万円	9.0%
普 通 建 設 事 業 費	51億4,813万円	13.3%	39億2,431万円	10.5%	12億2,382万円	31.2%	90億1,270万円	20.6%
災 害 復 旧 事 業 費	8億2,423万円	2.1%	16億2,251万円	4.3%	△7億9,828万円	△49.2%	16億8,814万円	3.9%
公 債 費	58億3,546万円	15.1%	64億 447万円	16.9%	△5億6,901万円	△8.9%	64億 447万円	14.6%
積 立 金	1億2,937万円	0.3%	1,329万円	0.0%	1億1,608万円	873.4%	1,329万円	0.0%
投 資 及 び 出 資 金	3億9,684万円	1.0%	3億6,350万円	1.0%	3,334万円	9.2%	3億6,350万円	0.8%
貸 付 金	4億3,000万円	1.1%	3億7,000万円	1.0%	6,000万円	16.2%	4億2,000万円	1.0%
繰 出 金	37億3,720万円	9.6%	36億8,680万円	9.8%	5,040万円	1.4%	36億8,680万円	8.4%
予 備 費	5,000万円	0.1%	5,000万円	0.1%			5,000万円	0.1%
歳 出 合 計	387億5,200万円	100.0%	376億8,200万円	100.0%	10億7,000万円	2.8%	437億6,904万円	100.0%

※平成21年度当初予算は、市長選挙のため政策的経費を高い資格予算となっています。

◎一般会計歳入の状況



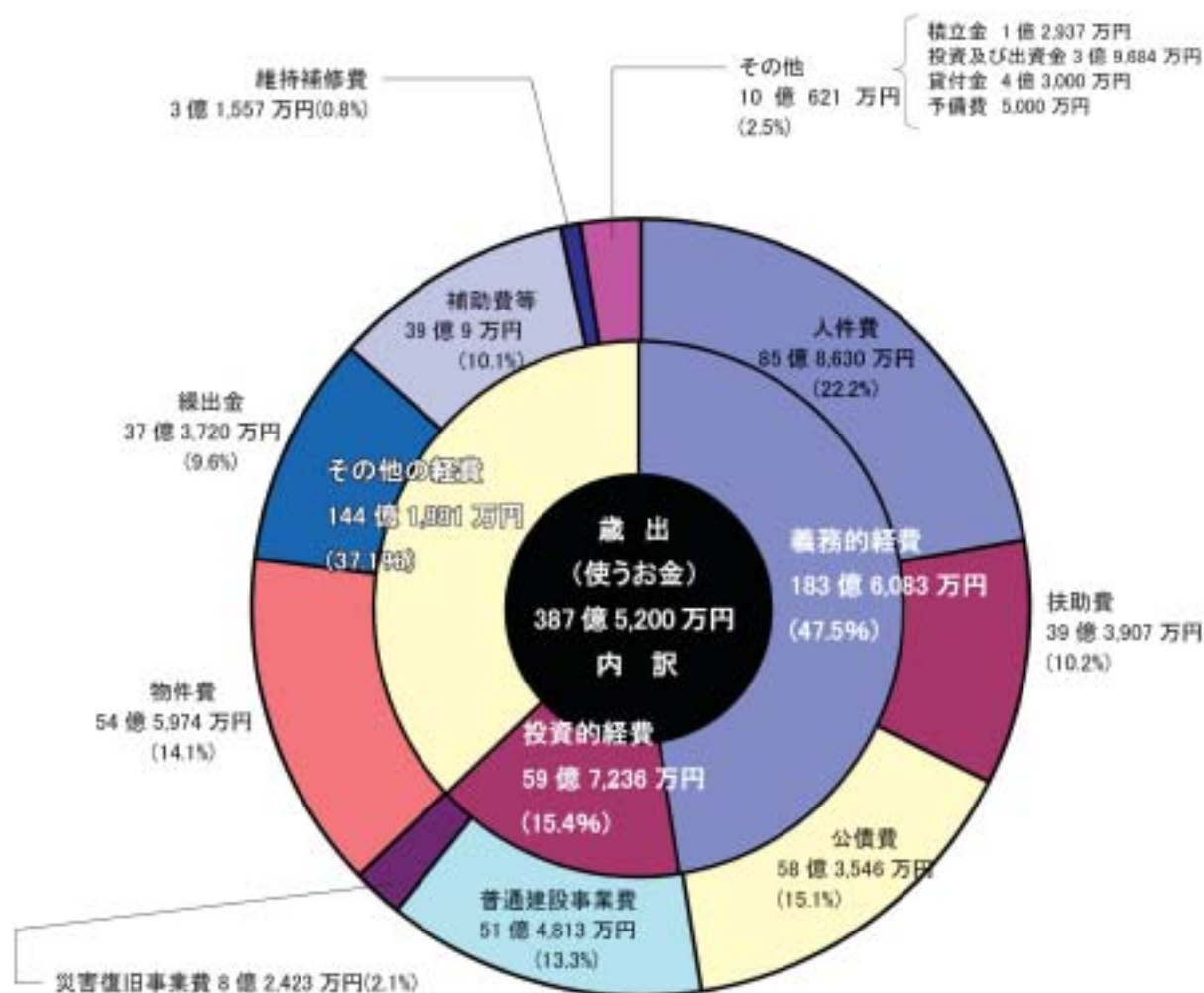
自主財源 (栗原市が自分の方で得られるお金です)

- 市 税—市民税や固定資産税など、市で受け入れている税金
- 繰 入 金—特別会計や各基金などから繰り入れるお金
- 諸 収 入—他の収入科目に当てはまらない収入 (預金利子や貸付金元利収入など)
- 使 用 料 及 び 手 数 料—公共施設を使用した時に支払う使用料や住民票を取得する時の手数料など
- 分 担 金 及 び 負 担 金—市の事業により特に利益を受ける方から、その受益の範囲で負担していただくお金 (保育料など)
- 財 産 収 入—市が所有する財産を貸し付けたり、売り払いしたことにより生じる収入

依存財源 (国や県の基準に基づいて得られるお金です)

- 地方交付税—国が国税を一定の基準で地方に交付する税で、地方公共団体間の財源不均衡を調整するための交付金で、普通交付税、特別交付税があります
- 市 債—公共施設の建設などの財源として市が借入れる長期の借入金
- 県 支 出 金—県が特定の事務・事業に対して交付する負担金や補助金など
- そ の 他—(地方特例交付金) (地方消費税交付金) (自動車取得税交付金) (利子割交付金) (配当割交付金) (株式等譲渡所得割交付金) (ゴルフ場利用税交付金) (交通安全対策特別交付金)
 国の税金や県の税金を、各交付金として一定の基準により地方に交付されるお金
- 地方譲与税—国が国税を一定の基準によって地方に譲与する税 (自動車重量譲与税、地方揮発油譲与税など)
- 国庫支出金—国が特定の事務・事業に対して交付する負担金や補助金など

◎一般会計歳出（性質別）の状況



義務的経費（義務付けられている支出の事を言います）

- 人 件 費—議員や職員等に支払われる給与などの経費
- 扶 助 費—社会保障制度の一環として、児童、高齢者、障害者、生活困窮者を援助するための経費
- 公 債 費—市が借り入れた地方債（借入金）の返済に要する経費

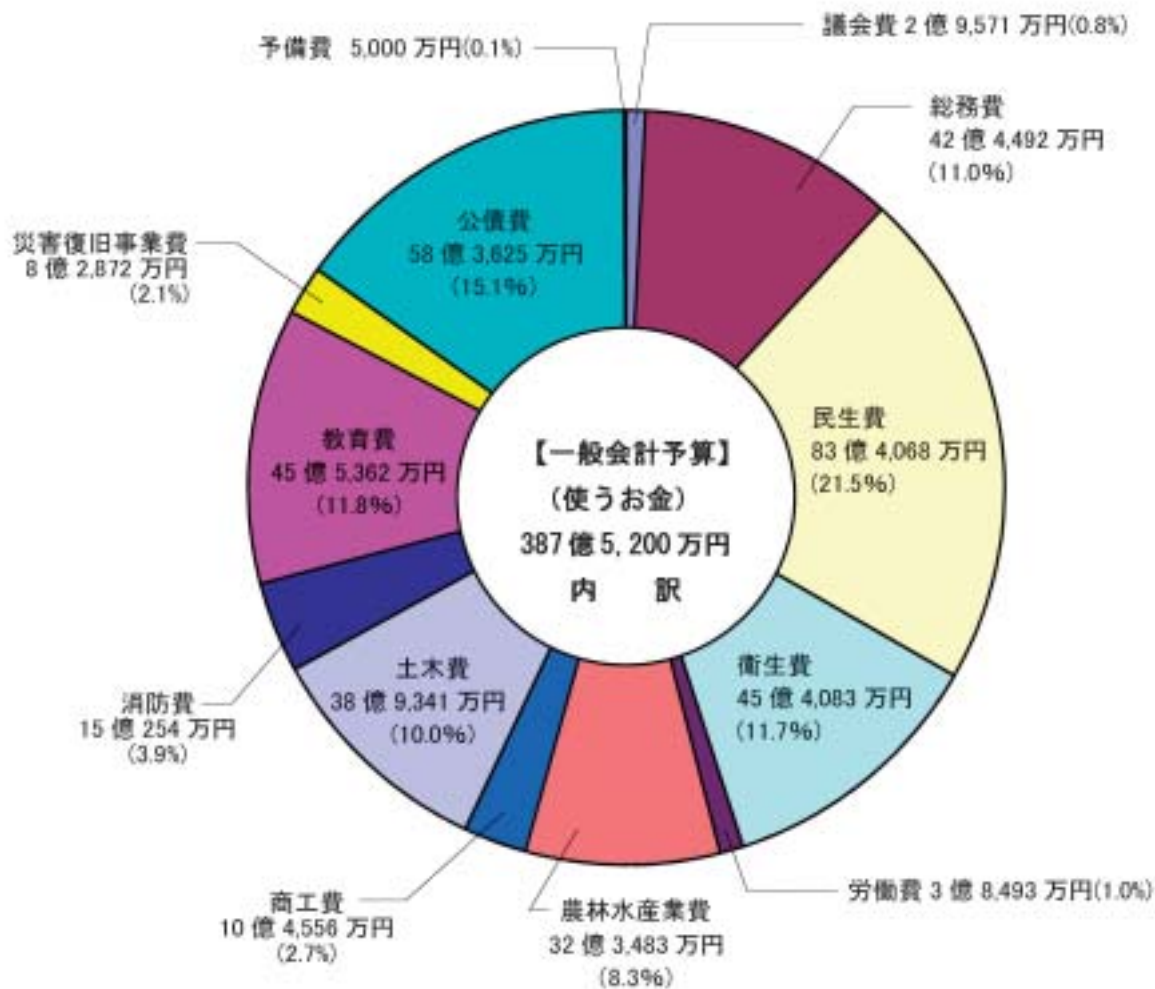
投資的経費（道路や学校など社会基盤の整備に充てる経費です）

- 普通建設事業費—生活基盤整備のための経費で、主に道路や橋、学校等公共用、公用施設の新増改築などに要する経費
- 災害復旧事業費—風水害や地震などの自然災害で被害を受けた公共施設などを復旧させるための経費

その他の経費（義務的経費、投資的経費以外の経費です）

- 物 件 費—委託料、賃金、旅費などの事務的経費
- 繰 出 金—他の特別会計への繰出などに要する経費
- 補 助 費 等—様々な団体への補助金、負担金、報償費、寄附金など
- 維 持 補 修 費—道路や公共施設などの効用を維持するための経費
- そ の 他—
 (投資及び出資金) 病院・水道事業会計などへの出資金など
 (貸 付 金) 公益上の目的を持って個人や団体に貸付ける経費
 (積 立 金) 特定の目的のために設けられた基金などに積立する経費
 (予 備 費) 不測の事態が起きた場合に備えての予算措置

◎一般会計歳出（目的別）の状況



議 会	費—議員の報酬や費用弁償、議会事務局の人員費及び事務経費など議会に関するすべての経費
総 務	費—全般的な管理事務、企画調整事務、財政・財務管理に要する経費など、市の共通経費で、支所及び出張所の経費、税務に関する経費、戸籍及び住民基本台帳に関する経費、選挙に関する経費、統計調査に関する経費、監査委員に関する経費のほか、他の目的区分のいずれにも分別できない経費
民 生	費—市民の社会生活を保障するために必要な経費で、社会福祉、障害者、高齢者、児童福祉、生活保護及び災害救助関係の経費
衛 生	費—衛生的な生活環境を保つための経費で、伝染病予防費、結核予防費、火葬場費、ごみ処理費、し尿処理費などの経費
勞 働	費—失業対策事業及び雇用の拡大などに要する経費
農 林 水 産 業	費—農業委員会や農林業の振興のために要する経費で、農業土木、農業構造改革、園芸振興、畜産振興、林業振興及び水産業振興などの経費
商 工	費—商工業の振興や観光事業などの経費
土 木	費—土木関係経費で、主に市道や橋りょうなどの整備や維持管理、住宅の建設や維持管理などの経費
消 防	費—災害防除、消防活動及び災害が生じた場合に被害を軽減する活動や消防施設整備などの経費
教 育	費—教育委員会、小・中学校、社会教育、文化財などすべての教育関係の経費
災 害 復 旧	費—災害によって生じた被害の復旧に要する経費
公 債	費—市が借り入れた長期・短期の借入金の返済に要する経費
予 備	費—不測の事態が起きた場合に備えての予算措置

一般会計・事業別予算一覧

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

区 分	事 業 名	事業費	ページ
(1)豊かな自然環境と共生した 生活を実現します	一般住宅省エネ化推進事業	400 万円	10
	庁舎太陽光発電システム導入事業	3,600 万円	
	し尿処理事業	3億5,219 万円	
	ごみ処理事業	4億8,571 万円	
	農地・水・環境保全向上対策事業	8,031 万円	
(2)多様な暮らしを満喫できる 生活環境を形成します	都市計画街路事業	2億2,748 万円	11
	公営住宅整備事業	1億2,858 万円	
	道路橋りょう維持事業	4億5,260 万円	
	道路整備事業	10億7,906 万円	12
	辺地共聴施設整備事業	1億7,271 万円	
	新地域交通システム整備事業	2億4,553 万円	
(3)安全・安心なまちづくりを推進します	9. 1 総合防災訓練	1,000 万円	13
	運転免許取得者教育助成事業	30 万円	
	消防施設維持管理事業	2,200 万円	
	橋りょう耐震補強対策事業	1億5,400 万円	
	木造住宅耐震改修等事業	1,508 万円	

2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

区 分	事 業 名	事業費	ページ
(1)次代を担うたくましい子どもを育成します	築館中学校体育館改築事業	6,656 万円	14
	若柳中学校校舎改築事業	3億4,744 万円	
	鶯沢小学校プール改修事業	1億390 万円	
	豊かな心をはぐくむ教育環境創造事業ほか3事業	689 万円	
	青空大使派遣事業	812 万円	
	語学指導を行う外国青年招致事業	6,969 万円	
	学力向上のための緊急プロジェクト	337 万円	
(2)人生を楽しむための実践機会を充実します	「心にきざむ 文化講演会」開催	240 万円	15
	築館陸上競技場第三種公認検定更新事業	2,885 万円	
	親子の自然ふれあい事業	11 万円	
	「目指せ！日本一」スポーツ振興事業	200 万円	
(3)地域に根ざした文化の振興と 歴史の継承を図ります	「やったね！日本一」スポーツ振興事業	100 万円	15
	文化財保護事業	7,830 万円	

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

区 分	事 業 名	事業費	ページ	
(1)子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います	地域子育て支援センター運営事業	3,250 万円	16	
	すこやか子育て支援金支給事業	2,500 万円		
	児童虐待防止対策事業	37 万円		
	放課後児童クラブ等運営事業	6,935 万円		
	(2)誰もが健康で安心して 暮らせる環境をつくります	子ども入院費助成事業	555 万円	17
		一時保育事業	973 万円	
		特定不妊治療費助成事業	50 万円	
		母子保健健康診査事業	7,106 万円	
(2)誰もが健康で安心して 暮らせる環境をつくります	いのちを守る緊急総合対策事業	1億225 万円	18	
	健康診査事業	2億295 万円		
	救急医療体制確保事業	2,000 万円		
	新型インフルエンザ対策事業	108 万円		
	予防接種事業	1億303 万円		
	(3)高齢者が生きがいをもち 互いに支え合うまちを目指します	訪問入浴サービス事業	216 万円	19
		相談支援事業	1,679 万円	
		成年後見制度利用支援事業	65 万円	
		自動車運転免許取得・改造助成	70 万円	
		日中一時支援事業	246 万円	
日常生活用具給付等事業		1,471 万円		
移動支援事業		452 万円		
(3)高齢者が生きがいをもち 互いに支え合うまちを目指します	コミュニケーション支援事業	78 万円	20	
	高齢者福祉タクシー利用助成事業	216 万円		
	緊急通報体制等整備事業	326 万円		
	「食」の自立支援事業	499 万円		
	訪問理美容サービス事業	11 万円		
	軽度生活援助事業	1,080 万円		
	寝具乾燥サービス事業	33 万円		
	生きがい活動支援通所事業	2,966 万円		
	日常生活用具給付事業	18 万円		
高齢者日常生活支援業務利用助成事業	100 万円			

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

区 分	事 業 名	事業費	ページ
(1)栗原ブランドの形成と高付加価値の 地場産品づくりに取り組みます	栗原ブランドの確立支援事業	489 万円	21
	ほ場整備事業	2億805 万円	
	栗原の森林づくり支援事業	1,200 万円	
	直売所・加工施設建設事業	6,850 万円	
	園芸特産重点強化整備事業	3,117 万円	
	優良子牛保留等対策事業	703 万円	

区 分	事業名	事業費	ページ
(2)産業育成と企業誘致による 産業拠点を形成します	企業立地促進奨励金	3,191万円	22
	雇用促進奨励金	610万円	
	誘致企業社員定住促進奨励金	410万円	
	雇用拡大奨励金	1,300万円	
	中小企業振興資金	3億4,000万円	
	姫路高専大学コ・モビリティ社会研究センターとの連携協力	214万円	
	離職者技術取得支援給付金	600万円	
	ものづくり企業活性化事業	550万円	
	次世代技術戦略推進プロジェクト	30万円	
(3)地域資源を活かした交流人口の 増加を図り栗原市を発信します	くりはら田園観光都市創造事業	493万円	23
	くりはら田園鉄道跡地利用計画策定事業	600万円	
	第3回栗原市観光写真コンクール	24万円	

5 「市民がまちづくりを楽しめるまち」

区 分	事業名	事業費	ページ
(1)小さなコミュニティを大切に 地域づくりを推進します	地域集会施設新築改築修繕事業	9,714万円	24
	住民自治活動助成事業	7,447万円	
(2)市民が自ら行うまちづくり活動を支援します	合併5周年記念式典	120万円	
	男女共同参画推進事業	44万円	
(3)市民満足度を重視した効率的な 行政サービスを行います	郵便局窓口交付サービス事業	82万円	

6 「平成20年岩手・宮城内陸地震」からの復興を目指します



区 分	事業名	事業費	ページ
水と緑、山の再生へ	栗駒山交通改善対策事業	300万円	25
	復興・観光振興イベント開催事業	823万円	
	集落支援対策事業	350万円	
	宅地背後地災害復旧助成事業	240万円	
	温泉宿泊施設等災害復旧融資利子補給金	221万円	
	道路・河川・橋りょう災害復旧事業	7億9,805万円	26
	ブロック塀等除却・生垣等設置助成事業	500万円	

特別会計・事業別予算一覧

区 分	事業名	事業費	ページ
国民健康保険特別会計	特定健康診査・特定保健指導事業	6,371万円	27
介護保険特別会計	介護予防・特定高齢者施策予防事業	1,934万円	
	脳卒中・認知症・寝たきり予防プロジェクト	776万円	
後期高齢者医療特別会計	後期高齢者医療制度	7億4,356万円	
水道事業会計・簡易水道事業特別会計	水道施設整備事業	1億6,489万円	
	石綿セメント管更新事業	6,450万円	
下水道事業特別会計	公共下水道事業	6億8,260万円	
農業集落排水事業特別会計	農業集落排水事業	189万円	28
合併処理浄化槽事業特別会計	戸別浄化槽設置事業（市町村設置型）	2億2,710万円	
	浄化槽整備事業（個人設置型）	736万円	
病院事業会計	看護学生修学資金貸付事業	300万円	
	医学生修学一時金貸付事業	2,280万円	
	栗原中央病院院内保育所運営事業	6,110万円	
	栗原中央病院リハビリテーション訓練室整備事業	5,000万円	
	栗原市立病院医療機器等整備事業	4,130万円	

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(1) 豊かな自然環境と共生した生活を実現します

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

一般住宅省エネ化推進事業400万円

(担当：環境課環境政策係)

地球温暖化を抑制するため、一般家庭における太陽光発電と省エネ設備を併せて設置する際に、補助金を交付します。



し尿処理事業 3億5,219万円

(担当：環境課生活環境係)

し尿処理施設の管理運営を行います。

財源	利用者の負担額	1億6,985万円
	市の負担額	1億8,234万円

ごみ処理事業 4億8,571万円

(担当：環境課生活環境係)

家庭ごみの収集運搬とごみ処理施設の管理運営を行います。



財源	利用者の負担額	5,257万円
	市の負担額	4億3,314万円

庁舎太陽光発電システム導入事業

3,600万円

(担当：管財課財産係)

地球温暖化対策の一環として、行政庁舎に太陽光パネルを設置し、併せて照明の一部を省エネタイプに交換することで、環境にやさしい施設にします。

農地・水・環境保全向上対策事業

8,031万円

(担当：農業政策推進室)

田や畑及び農業用水などの資源や農村環境の良好な保全とその質の向上を図るため、地域ぐるみで参加する共同活動や環境にやさしい農業に向けた営農活動に対して支援を行います。



生き物調査の様子



花壇の植替えの様子

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

都市計画街路事業 2億2,748万円

(担当：都市計画課都市整備係)

安全で快適な交通体系を確保し、すべての人にとって利用しやすい街路づくりを推進していきます。

(築館) 一迫南線、小山内沢線、源光町田線
(若柳・志波姫) 新山十文字線

財源 国・県の負担額 1億2,576万円
市の負担額 1億 172万円
(うち市債【借入金】 9,740万円)



整備予定の都市計画道路一迫南線

公営住宅整備事業

1億2,858万円

(担当：建築住宅課建築係)

公営住宅の老朽化による建替えや、改修事業を通して、安心して暮らせる居住環境・生活環境の整備を目的に、公営住宅(2棟12戸)の整備と老朽化した住宅(35戸)の解体を行います。

建設 (築館) 新田東住宅
解体 (金成) 有壁住宅、(鷺沢) 森下日和住宅
(高清水) 佐野丁住宅

財源 国・県の負担額 3,254万円
市の負担額 9,604万円



新田東住宅(築館)

道路橋りょう維持事業

4億5,260万円

(担当：建設課維持係)



市道や側溝の小規模な補修をして、安心安全な道路環境を整備します。



市道の補修状況

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

 = 新規事業、
  = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

道路整備事業 10億7,906万円

(担当：建設課建設係)

財源 国・県の負担額 3億2,880万円
 市の負担額 7億5,026万円
 (うち市債〔借入金〕7億230万円)

○道路新設改良事業

市民の生活を支える基礎となる市道を整備し、安全で快適な道づくりを実施します。

- 《築館》 沢入留場線、栗原中央西線（築館～一迫）、間渡戸線、下中道線、あけぼの通線
 《若柳》 新田線（2期）、杉沢地区道路、新町片町8号線、並柳地区排水路、福岡14号線
 《栗駒》 広域線、四日町松木田線、高松松倉線、下大鳥内ノ目線 《高清水》 上萩田線
 《一迫》 清水小栗目・日照線、十日市線、上要害線、清水目嶋林線 《湖峰》 天神・樋渡線
 《鷹沢》 辻前遠堀線（2期）《金成》 片馬合原線、大手線 《花山》 芦ノ口上原線、萩ノ原線



市道新田線(2期) (若柳)



市道間渡戸線 (築館)

辺地共聴施設整備事業

1億7,271万円

(担当：市政情報課情報化推進係)

地上アナログテレビ放送のデジタル化に伴い、従来からの共同受信施設や新たに共同受信施設が必要となる箇所について、新設、改修費用を補助し、難視聴地域の解消を図ります。



財源 国の負担額 1億3,322万円
 市の負担額 3,949万円
 (うち市債〔借入金〕3,750万円)

新地域交通システム整備事業

2億4,553万円

(担当：市民協働課地域振興係)

県内一広い面積である市内の交通の利便性向上を図るため、生活路線バスの運行委託や、既存公共交通の多様な運行形態の検討を行います。

また、料金については、分かりやすさや負担の軽減を図るため、均一運賃の導入など、料金体系の見直しを行います。

新規3路線を含む、全24路線で運行します。

財源 県の負担額 1,400万円
 市の負担額 2億3,153万円

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(3) 安全・安心なまちづくりを推進します

 新規事業、 拡充事業 (事業名の頭に表記)

9. 1 総合防災訓練 1,000万円

(担当：危機管理室防災係)

9月1日の「防災の日」に宮城県総合防災訓練を、栗原市を会場として大規模に開催します。

財源	国・県の負担額	200万円
	市の負担額	800万円



運転免許取得者教育助成事業 30万円

(担当：危機管理室防災係)

市内にお住まいの高齢者の方が、市内の自動車学校において受講する運転免許取得者教育（認定教育）に対し、補助を行います。

消防施設維持管理事業 2,200万円

(担当：消防本部総務課消防団係)

火災時における消防水利の迅速な把握ができるよう、標識の設置や破損している標識の修繕（約400箇所）を実施します。

橋りょう耐震補強対策事業 1億5,400万円

(担当：建設課建設係)

市が管理する道路に架かる橋を調査し、計画的に修繕する事により、橋の耐用年数を延ばすことができ、今後発生する修繕経費の削減を図ることを目的に市道橋の修繕計画策定をしています。計画に基づき危険度の高い市道橋から修繕を行います。

財源	国・県の負担額	8,880万円
	市の負担額	6,520万円
	(うち市債【借入金】)	5,610万円)



木造住宅耐震改修等事業 1,508万円



(担当：建築住宅課建築係)

予想される宮城県沖地震等の大規模地震から市民の生命、財産を守るため、木造住宅の耐震改修助成、耐震診断、家具転倒防止器具取付事業を行います。

財源	国・県の負担額	874万円
	市の負担額	634万円

2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

(1) 次代を担うたくましい子どもを育成します

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

築館中学校体育館改築事業

6,656万円

(担当：教育総務課教育施設係)

体育館建築・解体工事等(平成22年度～23年度事業の平成22年度分)

財源	国の負担額	713万円
	市の負担額	5,943万円
	(うち市債【借入金】)	5,590万円)

若柳中学校校舎改築事業

3億4,744万円

校舎建設・解体工事等(平成22年度～24年度事業の平成22年度分)

財源	国の負担額	2,180万円
	市の負担額	32,564万円
	(うち市債【借入金】)	30,750万円)

鷺沢小学校プール改修事業

1億390万円

プール改修工事等

財源	国の負担額	1,010万円
	市の負担額	9,380万円
	(うち市債【借入金】)	8,910万円)

豊かな心をはくくむ教育環境創造事業ほか3事業 689万円

(担当：学校教育課指導係)

いじめ、不登校問題への対応として、児童生徒、保護者、それぞれ問題を抱える人々への専門相談体制を整備します。

- ① 教育相談員の配置
- ② 適応事業教室(けやき教室)の開設
- ③ 問題を抱える子ども等の自立支援事業
- ④ スクールソーシャルワーカー事業

財源	県の負担額	146万円
	市の負担額	543万円

青空大使派遣事業 812万円

(担当：社会教育課生涯学習係)

市内中学生を対象に海外研修を行い、国際感覚豊かな人材を育成します。

財源	参加者の負担額	160万円
	市の負担額	652万円

語学指導を行う外国青年招致事業

6,969万円

(担当：学校教育課指導係)

外国語指導助手(ALT)を市内全中学校に1人ずつ配置(合計10人)し、中学校等での英語教育推進と地域交流等を推進します。また、市内小学校における独自の英語活動の導入や、留学生との交流を通じた生きた英語教育を実践します。



外国語指導助手による授業の様子

学力向上のための緊急プロジェクト


337万円

(担当：学校教育課指導係)

宮城教育大学との連携事業として、学生の協力による長期休業中の中学生の学びの場である「もっと学びたい子どものための『学府くりはら塾』」の開講や、教師を対象にした学力向上講演会を行うなど、総合的な学力向上施策を行います。

2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

(2) 人生を楽しむための実践機会を充実します


 = 新規事業、
  = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

「心にきざむ 文化講演会」開催
 240万円
 (担当：社会教育課文化振興係)

著名人を招き、身近で魅力のある内容をテーマとした、文化講演会を開催します。



～私が選んだ女優の道～
 笑顔で語る 市原悦子氏
 (平成21年度実施の様子)

 **築館陸上競技場第三種公認検定更新事業**
 2,885万円

(担当：社会教育課スポーツ振興係)
 走路の張替え改修や写真判定装置などの関連備品の購入を行います。

親と子の自然ふれあい事業 11万円
 (担当：社会教育課スポーツ振興係)

市内ダム湖でのカヌー体験や親子共同による工作活動を通じて栗原の自然を体験し家族のふれあいや結びつきを支援します。



親子カヌー体験

「目指せ！日本一」スポーツ振興事業
 200万円

各種スポーツの全国大会などへの出場選手(団体)に参加費助成を行います。

「やったね！日本一」スポーツ振興事業
 100万円

全国大会で日本一など優秀な成績を残した各種スポーツ出場選手(団体)を表彰します。
 (担当：社会教育課スポーツ振興係)



第22回全国スポーツ・レクリエーション祭参加者

(3) 地域に根ざした文化の振興と歴史の継承を図ります

文化財保護事業 7,830万円
 (担当：文化財保護課文化財係・埋蔵文化財係)

史跡山王団遺跡の整備、史跡伊治城跡公有化(土地買上)のほか、市内文化財の調査保護、地域の伝統芸能活動の支援を行います。

財源	国・県の負担額	5,520万円
	市の負担額	2,310万円
	(うち市債[借入金])	1,140万円



山王団遺跡

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います

■ = 新規事業、■ = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

地域子育て支援センター運営事業 3,250万円

(担当：子育て支援課保育サービス係)

育児不安を抱える母親の相談や子育てサークル等の育成支援を行うセンターを、市内10地区で行い、地域全体で子育てしやすい社会づくりを目指します。

財源	国・県の負担額	2,497万円
	市の負担額	753万円



高清水子育て支援センター
「親子クリスマス会」の様子

児童虐待防止対策事業 37万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

児童虐待をなくすため、地域協議会を開催し、虐待についての相談等の対策を講じます。また、児童虐待防止に関する専門的な研修を実施し要保護家庭を支援するスタッフの資質の向上を図ります。

放課後児童クラブ等運営事業 6,935万円

(担当：社会教育課生涯学習係)

共働き家庭などの、おおむね10歳未満の児童を預かり、放課後に適切な遊びや生活の場を与え、健全な育成を図るため、市内全地区で放課後児童クラブ等を実施します。

財源	県の負担額	1,205万円
	利用者の負担額	1,654万円
	市の負担額	4,076万円



放課後児童クラブの様子

すこやか子育て支援金支給事業 2,500万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

子育てを応援するため出生祝金、入学祝金を支給します。

・出生祝金	第1・2子	2万円
	第3子	5万円
	第4子	10万円
	第5子以降	20万円

・入学祝金	第3子以降	10万円
-------	-------	------

財源	宝くじ助成金	2,000万円
	市の負担額	500万円

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」 (1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

子ども入院費助成事業

555万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

市内の小学生・中学生の入院に係る医療費の一部負担金を助成することにより、子育て家庭における経済的負担の軽減を図ります。

特定不妊治療費助成事業

50万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

特定不妊治療を受ける方への費用の一部を助成します。

一時保育事業

973万円

(担当：子育て支援課保育サービス係)

保護者のパート就労や病気、冠婚葬祭、育児等に伴う心理的・肉体的負担の解消等のため、一時的（緊急的）にお子さんを保育所に預けることができます。

市内10か所の保育所で行い、子育てしやすい社会づくりを目指します。

財源	国・県の負担額	300万円
	利用者の負担額	254万円
	市の負担額	419万円



楽しそうに遊ぶ子どもたちの様子



築館西保育所お誕生会の様子

母子保健健康診査事業

7,106万円

(担当：健康推進課保健指導係)

妊婦一般健康診査は今年度も引き続き14回の助成を行います。



3歳児健診むし歯0本をめざし、1歳6か月から3歳児までに歯科検診とフッ素塗布を4回行います。

乳幼児健診は2か月から3歳児までお子さんの成長発達、育児の相談を医師、歯科医師、保健師、栄養士、歯科衛生士、保育士、心理相談員が行います。

財源	国の負担額	1,557万円
	市の負担額	5,549万円

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

いのちを守る緊急総合対策事業 1億225万円

(担当：社会福祉課・健康推進課)

栗原市では自殺率が高いことから、自殺防止キャンペーンや講演会などによる啓発事業を継続して実施します。また、自殺要因の25%を占める金銭問題の解決が急務であることから、多重債務専用の電話相談や弁護士相談、栗原市のぞみローンでの解決方法を含め自殺を防止するための各種事業を行います。



自殺防止キャンペーンの様子

財源	県の負担額	100万円
	市の負担額	1億125万円

健康診査事業 2億295万円

(担当：健康推進課健康推進係)

市民の健康保持や病気の早期発見のため、各種健康診査・がん検診等により健康管理に対する支援を行います。

また、21年度に引き続き、女性特有のがん検診事業として、対象年齢の方に無料クーポン券を配布します。

財源	国の負担額	539万円
	県の負担額	222万円
	利用者の負担額	1,771万円
	後期高齢者医療広域連合の負担額	1,500万円
	市の負担額	1億6,263万円

新型インフルエンザ対策事業

108万円

(担当：健康推進課保健指導係)

新型インフルエンザの発生状況にあわせ、栗原市新型インフルエンザ対策行動計画に基づき、継続して対策を実施します。

市民にいち早く情報を提供し、感染予防の啓発と感染拡大防止対策を行ないます。

今後は、新型インフルエンザの再流行に備えて、消毒薬等を確保して対策を講じてまいります。

予防接種事業

1億303万円

(担当：健康推進課健康推進係)

予防接種法の規定に基づき、伝染のおそれがある疾病の発生及び蔓延を予防するために予防接種事業を行います。



BCG、ポリオ、三種混合（ジフテリア、百日せき、破傷風）、麻しん及び風しん混合、日本脳炎、高齢者インフルエンザ予防接種など

救急医療体制確保事業 2,000万円

(担当：健康推進課健康推進係)

市民の急患に対する救急医療体制として、市内3病院での救急患者の受け入れのほか、大崎市民病院救命救急センターでの診療を確保します。

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」 (2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

訪問入浴サービス事業 216万円 (担当：社会福祉課障害福祉係)

自宅での入浴が困難な身体障害者に対し、訪問入浴サービスを行います。

財源	国・県の負担額	162万円
	市の負担額	54万円

日常生活用具給付等事業 1,471万円 (担当：社会福祉課障害福祉係)

重度障害者等に対し、日常生活の便宜を図るため特殊寝台や紙おむつなど日常生活用具の給付、または貸与を行います。

財源	国・県の負担額	1,103万円
	市の負担額	368万円

相談支援事業 1,679万円

障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供を行います。

成年後見制度利用支援事業 65万円

障害者にかわり、財産を管理したり、施設への入所に関する契約を結んだりできる成年後見制度の利用を支援します。

財源	国・県の負担額	48万円
	市の負担額	17万円

自動車運転免許取得・改造助成 70万円

障害者が自動車運転免許を取得したり、自動車を改造する費用の一部を助成します。

財源	国・県の負担額	53万円
	市の負担額	17万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

移動支援事業 452万円

屋外での移動が困難な障害者に、外出する際の支援を行います。

財源	国・県の負担額	233万円
	市の負担額	219万円

コミュニケーション支援事業 78万円

意思疎通を図ることが困難な障害者に、手話通訳者等の派遣を行い意思疎通の支援を行います。



手話通訳者が聴覚障害者の役所の手続きや通院の際にコミュニケーション支援を行っています

財源	国・県の負担額	57万円
	市の負担額	21万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

日中一時支援事業 246万円 (担当：社会福祉課障害福祉係)

障害者に日中活動の場を提供し、家族の就労支援や介護の負担を軽減するための支援を行います。

財源	国・県の負担額	184万円
	市の負担額	62万円

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(3) 高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

高齢者福祉タクシー利用助成事業 216万円

(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

通院が困難な低所得の高齢者に対し、通院のためのタクシー利用の際の料金の一部を助成します。

寝具乾燥サービス事業 33万円

(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

自宅でのひとり暮らし高齢者等に対し、布団等の洗濯・乾燥サービスを行います。

財源	利用者の負担額	12万円
	市の負担額	21万円

緊急通報体制等整備事業 326万円

(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

自宅でのひとり暮らし高齢者等に対し、家庭用緊急通報システムの貸し付けを行います。

財源	利用者の負担額	101万円
	市の負担額	225万円

生きがい活動支援通所事業 2,966万円

(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

家に閉じこもりがちな高齢者に対し、通所によるサービス(ミニデイサービス)の提供を行います。

財源	利用者の負担額	600万円
	市の負担額	2,366万円

「食」の自立支援事業 499万円

自宅でのひとり暮らし高齢者等に対し、宅配による給食サービスを行います。

財源	利用者の負担額	200万円
	市の負担額	299万円

訪問理美容サービス事業 11万円

寝たきり等の高齢者に対し、訪問理美容サービスを行います。

日常生活用具給付事業 18万円

(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

ひとり暮らし高齢者等に対し、電磁調理器等の日常生活用具を給付、または貸与を行います。

軽度生活援助事業 1,080万円

自宅でのひとり暮らし高齢者等に対し、ホームヘルパーを派遣し、軽易な日常生活上の援助を行います。(家事援助)

財源	利用者の負担額	108万円
	市の負担額	972万円

(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

高齢者日常生活支援業務利用助成事業 100万円


(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

ひとり暮らし高齢者等に対し、庭の清掃や除雪作業などの日常生活の支援に係る経費の一部を助成するため、日常生活支援業務助成券(シルバー人材センターが行う日常生活支援業務に限り使用できる)を交付します。(生活援助)

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(1) 栗原ブランドの形成と高付加価値の地場産品づくりに取り組みます


=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

 栗原ブランドの確立支援事業 489万円
(担当：産業戦略課商工振興係)


栗原ブランド認定産品のPRイベント開催・インターネットショップの開設・取扱店拡大などを支援し、消費者に認知され信頼される産品の確立を図ります。



栗原ブランド認定品 (平成22年3月現在)

 栗原の森林づくり支援事業
1,200万円
(担当：農林振興課林業振興係)

適正な森林整備と栗原産木材の価値を高めるため、間伐作業道整備、搬出経費などの経費の一部を助成します。

 直売所・加工施設建設事業
6,850万円
(担当：農林振興課農政係)

農畜産物の生産・加工・販売までの一体となったアグリビジネス(6次産業)への取り組みにより、地産地消の推進や都市との交流を通じて、農畜産物の高付加価値化と農業所得の向上や消費者ニーズの情報収集を図るため、若柳地区に直売所と加工施設を建設します。

ほ場整備事業 2億805万円
(担当：農村整備課農地整備係)

経営体育成基盤整備事業など12地区でほ場整備を行います。

芋峠(築館・栗駒)、王沢(一迫)、大里(瀬峰)、尾松第2(栗駒・鶯沢)、川北(若柳・金成)、川北2期(若柳)、枕ヶ浦(若柳・志波姫)、栗原(築館・栗駒)、栗原2期(築館・栗駒)、城下(築館)、上富(瀬峰)、沖富(築館)



ほ場整備施工中の築館城下地区

財源 受益者の負担額 6,035万円
市の負担額 1億4,770万円
(うち市債「借入金」1億2,820万円)

園芸特産重点強化整備事業
3,117万円
(担当：畜産園芸課園芸振興係)

ハウス設置、生産機械導入などの事業に要する経費について、農業者団体及び生産組織に対し助成を行います。

財源 県の負担額 2,398万円
市の負担額 719万円

優良子牛保留等対策事業 703万円
(担当：畜産園芸課畜産振興係)

肉牛資源の確保と「栗原ブランド」の確立を図るため、市内の畜産農家が生産した優良牛を市内に保留及び導入した場合、助成を行います。

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)



市内企業への就職をお手伝いします。
就職希望高校生と市内企業の出会いの場
「くりはらジョブ・フェア2009秋」の様子

企業立地促進奨励金 3,191万円

市内に新設・移設・増設する企業に対し、投資規模に応じ固定資産税相当額を3年間助成します。

雇用促進奨励金 610万円

市内在住者を3人以上新たに常時雇用した市内企業に対しその雇用者数に応じ1人当たり10万円を助成します。

誘致企業社員定住促進奨励金 410万円

市内に工場等を新設・移設・増設し、必要な従業員を市内に新規転入させた際の住居の移転に要した経費の一部を助成します。

雇用拡大奨励金 1,300万円

市内在住の高等学校新規卒業者を新たに常時雇用し一定の要件を満たす市内企業に対し、雇用数に応じ助成します。

(担当：産業戦略課戦略推進係・商工振興係)

中小企業振興資金 3億4,000万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

市内で操業する中小企業者に対し金融融資のあっせんや、保証料を助成します。

財源	貸付金元利収入	3億円
	市の負担額	4,000万円

離職者技術取得支援給付金

600万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

再就職に向けて技術取得や能力開発のために、教育訓練・職業訓練を受講開始した方へ、受講経費の一部を助成します。

慶應義塾大学コ・モビリティ社会研究センターとの連携協力 214万円

(担当：企画課企画調整係)

慶應義塾大学コ・モビリティ社会研究センターと連携協力し、鷺沢地区で行う自動運転システムの実証実験や緊急情報通信システムの導入、遠隔医療に繋がる情報通信技術の構築など市の地域活性化に資する協働研究を行います。



コ・モビリティ研究での自動運転研究の実演

ものづくり企業活性化事業 550万円

(担当：産業戦略課企業支援係)

地域経済活性化を図るため、企業連絡協議会を中心として新たに事業展開ができるよう、ものづくり企業実態調査事業、産業人材育成事業、技術向上支援事業等に補助金を交付します。

次世代技術戦略推進プロジェクト

30万円

(担当：産業戦略課戦略推進係)

地球温暖化対策として環境にやさしく、将来的に大きな伸びが期待できる太陽エネルギーの活用に向けて、基本計画・アクションプランを策定します。

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(3) 地域資源を活かした交流人口の増加を図り栗原市を発信します

①=新規事業、②=拡充事業 (事業名の頭に標記)

くりはら田園観光都市創造事業

493万円

(担当：田園観光課観光企画係)

地域を活性化するために、地域資源を活用しながら、すべての産業が連携して実現する新しい観光産業づくりとして「くりはら田園観光都市」の創造を目指します。

資源調査、観光まちづくり研究会、くりはら食ツーリズム研究会、地域づくりインターン、くりはら観光塾などの事業に取り組みます。



食の魅力とその活用を研究する
くりはら食ツーリズム研究会



観光まちづくり研究会は、平成21年度から2カ年事業で市内の観光まちづくりを取り巻く環境を調査しながら地域資源を生かし、経済活動につながる観光の体制と仕組みづくりを研究しています。



首都圏の大学生が、地方の暮らしを体験する地域づくりインターン事業。市民と若者の交流から、地域の魅力を再発見します。

① くりはら田園鉄道跡地利用計画策定事業

600万円

(担当：企画課企画調整係)

くりはら田園鉄道旧若柳駅周辺の今後の利活用について、計画を策定します。

財源	県の負担額	300万円
	市の負担額	300万円

第3回栗原市観光写真コンクール

24万円

(担当：田園観光課観光振興係)



第2回最優秀賞「坊や出番だよ」

普段、見過ごしがちな地域資源の再発見と栗原の魅力を効果的に県内外にPRするために観光写真コンクールを開催します。



第2回優秀賞「群翔」

5 「市民がまちづくりを楽しめるまち」

(1) 小さなコミュニティを大切にされた地域づくりを推進します

■ = 新規事業、■ = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

地域集会施設新築改築修繕事業

9,714万円

(担当：市民協働課市民協働係)

各地区の集会施設の新築、改築、修繕の経費に対し助成を行い、自治会運営の住民参加を促進します。



小豆畑集会所 (花山：平成21年度建設)

財源	市の負担額	9,714万円
	(うち市債〔借入金〕)	6,740万円)

住民自治活動助成事業

7,447万円

(担当：市民協働課市民協働係)

「市民が創るくらしたい栗原」を目指し、各地区の自治会やコミュニティ推進協議会の創意工夫による自立的コミュニティ活動を支援するため、一括交付金を交付します。



コミュニティ推進協議会による花植栽事業の様子

本年度より自主防災組織活動の項目を追加しました。

(2) 市民が自ら行うまちづくり活動を支援します

合併5周年記念式典

120万円

(担当：総務課総務係)

平成17年4月の合併から満5周年に当たり、市民・関係者が5年間の歩みを振り返り、さらなる市民の郷土愛と一体感の醸成、協働のまちづくりを目指し、記念式典を開催します。

男女共同参画推進事業

44万円

(担当：市民協働課男女共同参画推進係)

リーダーの養成講座やセミナーを開催し、男女が互いに尊重し合い、個性と能力を十分発揮しながら、共に地域活動に参画できるよう推進します。

財源	県の負担額	12万円
	市の負担額	32万円

(3) 市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います

郵便局窓口交付サービス事業



82万円

(担当：市民課市民係)

最寄りの総合支所から4km以上離れている地区にある、栗駒沼倉・栗駒文字・一迫金田の3郵便局で、各種証明書等の交付サービスを実施します。

6 「平成20年岩手・宮城内陸地震」からの復興を目指します

(1) 水と緑、山の再生へ

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

栗駒山交通渋滞対策事業

300万円

(担当：田園観光課観光振興係)

震災から復旧する県道築館栗駒公園線において、秋の紅葉シーズンに栗駒耕英地区からいわかがみ平まで、シャトルバスを運行し渋滞対策を行います。



シャトルバス運行による渋滞対策の様子

復興・観光振興イベント開催事業

823万円

(担当：田園観光課観光振興係)



くりはら元気物産市の様子

国道398号、県道築館栗駒公園線の完全復旧に合わせた震災復興と集客力回復に向けたイベント等を開催するとともに、10月から12月にかけて展開する「仙台・宮城【伊達な旅】キャンペーン」に参画し、観光資源を宣伝・啓発します。



あかとう 栗原

集落支援対策事業

350万円

(担当：市民協働課市民協働係)

高齢化率が高い花山地区に集落支援員を配置し、集落の巡回を行いながら現状や問題点の把握、さらには集落の将来あるべき姿などについて、「住民と住民」「住民と行政」との話し合いを行い地域の実情に応じた集落の維持や集落対策を行ないます。

宅地背後地災害復旧助成事業



240万円

(担当：建設課管理係)

被災した宅地背後地の応急復旧費用の一部を助成します。

6 「平成20年岩手・宮城内陸地震」からの復興を目指します

(1) 水と緑、山の再生へ

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)



温泉宿泊施設等災害復旧融資利子補給金 221万円

(担当：田園観光課観光振興係)

岩手・宮城内陸地震で被災した民間温泉宿泊施設の早期再開を支援するため、金融機関から受けた融資にかかる利子に対し、一部を補助します。

道路・河川・橋りょう災害復旧事業 7億9,805万円 (担当：建設課維持係)

災害にあった道路や河川、橋りょうの復旧を行います。

(市道馬場駒の湯線、市道荒砥沢線など)



市道馬場駒の湯線道路災害復旧状況

財源	国・県の負担額	7億5,416万円
	市の負担額	4,389万円
	(うち市債[借入金])	3,950万円)

ブロック塀等除却・生垣等設置助成事業

500万円

(担当：建築住宅課建築係)

災害発生に備え、倒壊のおそれがあるブロック塀から命を守るとともに、緊急車両などの通行を確保するため、除去工事の費用を助成します。また除去後の生垣の設置費用を助成します。



対策前



対策後

7 特別会計・事業会計予算の主な事業

新 新規事業、
 補 拡充事業
 （事業名の頭に標記）

特定健康診査・特定保健指導事業
 (国民健康保険特別会計) 6,371万円
 (担当：健康推進課医療給付係)

これまでの基本健康診査とともに、※メタボリックシンドロームやその予備軍を発見し、生活習慣を改善させる保健指導を行います。

※メタボリックシンドローム

内臓脂肪型肥満によって、さまざまな病気が引き起こされやすくなった状態

後期高齢者医療制度
 (後期高齢者医療特別会計) 7億4,356万円
 (担当：健康推進課医療給付係)

長寿医療制度（後期高齢者医療制度）では、75歳以上の方に新しい保険証が1人に1枚交付されます。被保険者が負担する保険料は、医療費の一部に充てられます。窓口での負担は、今まで通り変わりません。

介護予防・特定高齢者施策予防事業
 (介護保険特別会計) 1,934万円
 (担当：介護福祉課認定調査係)

基本健康診査と併せて「介護予防健診」を行い、食べる・飲み込むなどの口の働きを良くするためのトレーニングや運動機能の向上を支援します。

また、元気な高齢者が、より健やかに自立した生活を送れるよう運動の普及と認知症に関する相談、研修会を開催します。



運動機能向上教室の様子

水道施設整備事業 1億6,489万円
 (水道事業会計、簡易水道事業特別会計)
 (担当：水道課施設係)

水道水の安定供給や災害時の備えを目的として、古くなった水道本管やその他の水道施設を交換・修理する工事を行います。

また、水道料金を平成20年5月請求分から市内統一しましたが、上がる場合は平成22年5月請求分から、下がる場合は平成20年5月請求分から段階的に調整します。

石綿セメント管更新事業 6,450万円
 (水道事業会計、簡易水道事業特別会計)
 (担当：水道課施設係)

安全な水道水を安定して供給することを目的として、石綿セメント管を、丈夫な材質の新しい管へ交換する工事を行います。

公共下水道事業 6億8,260万円
 (下水道事業特別会計)
 (担当：下水道課施設整備係)

湖沼や水路などの自然環境を守り、生活の快適性の向上を目的に、汚水を処理する管路や施設工事等の効率的な事業推進を行います。また、「水洗便所等改造資金利子補給」「排水設備設置工事費補助金」等の助成制度で接続の促進を図ります。

主な工事箇所

- (築館地区) 下宮野町通線下水道工事
- (若柳地区) 県道中田栗駒線下水道工事
- (栗駒地区) 愛宕下上野線下水道工事 ほか

脳卒中・認知症・寝たきり予防プロジェクト
 (介護保険特別会計) 776万円
 (担当：介護福祉課認定調査係)

東北大学医学系研究科の指導により、高齢者の方を対象にアンケート調査やMRI検査（X線をかわずに、磁場と電波を使って体の中を見る画像診断。）を実施し、認知症の「早期発見・予防・治療・介護」のための体系を構築していきます。

7 特別会計・事業会計予算の主な事業

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

農業集落排水事業 189万円 (農業集落排水事業特別会計)

(担当：下水道課施設整備係)

農業用水や湖沼・水路などの水質保全と、生活の快適性の向上を目的に、汚水等の処理を行います。平成21年度で計画されている7地区の整備が完了しました。整備区域内で新たな公共汚水ますが必要となった場合に市が設置工事を行います。

戸別浄化槽設置事業(市町村設置型) (合併処理浄化槽事業特別会計)

2億2,710万円

(担当：下水道課施設整備係)

湖沼や水路などの水質保全を目的に、公共下水道事業の計画が予定されていない区域を対象に申請に基づき、市が浄化槽の設置工事を行い設置後の維持管理も行います。

看護学生修学資金貸付事業 (病院事業会計) 300万円

(担当：医療管理課総務係)

栗原市立病院及び診療所の看護師確保を図るため、看護師養成施設に在学する学生で、将来、栗原市立病院及び診療所に看護師として勤務しようとする学生に対し、修学資金を貸し付けます。

財源 県補助金 300万円

浄化槽整備事業(個人設置型) (合併処理浄化槽事業特別会計)

736万円

(担当：下水道課総務管理係)

湖沼や水路などの水質保全を目的に、公共下水道事業が計画されている区域内で、下水道が当分の間整備されない区域を対象に、浄化槽設置者に対し、設置に要する費用の一部を助成します。

医学生修学一時金貸付事業 (病院事業会計) 2,280万円

(担当：医療管理課総務係)

栗原市立病院及び診療所への医師の招へいを図るため、将来、栗原市立病院及び診療所に医師として勤務しようとする医学生に対し、修学一時金を貸し付けます。(医学生の保護者が宮城県内に居住する方が対象となります。)

※貸付実績 平成17年度～平成20年度：10人

栗原中央病院 リハビリテーション 訓練室整備事業 (病院事業会計) 5,000万円

(担当：医療管理課経営管理係)

栗原地域のリハビリテーション施設の充実を図るため、栗原中央病院のリハビリテーション訓練室の増築を行います。

財源 県補助金 5,000万円

栗原中央病院 院内保育所運營業 (病院事業会計) 6,110万円

(担当：医療管理課経営管理係)

医師の招へい及び看護師の確保を図るために設置した院内保育所について、効率的かつ安全で充実した保育所の運営(夜間預かりを含む。)を行います。

財源 県補助金 2,520万円

栗原市立病院 医療機器等整備事業 (病院事業会計) 4,130万円

(担当：医療管理課経営管理係)

栗原地域の産科医療(妊婦検診外来)の充実、及び救急医療の充実を図るために医療機器等の整備を行います。

また、在宅医療の充実を図るために公用自動車の更新を行います。

財源 県補助金 4,130万円

市民1人当たりの予算

市の財政について、皆さんに身近な形で理解していただくため、市の予算を市民1人当たりの金額で表してみました。

市政運営の基本となる一般会計の平成22年度予算387億5,200万円を、人口80,248人（平成17年国勢調査人口）で割った金額です。

収 入	
市民税、固定資産税などの市税	8.1万円 17%
国や県からもらえる地方交付税や補助金など	32.0万円 66%
公共施設などを建てる際、複数年にわたって国や銀行などから借りているお金（市債）	5.3万円 11%
施設の使用料や手数料など	2.7万円 6%
基金などから繰り入れるお金	0.2万円 -
合 計	48.3万円 100%

収入のうち、自分たちの力で得た市税などの収入（自主財源）は、全体の23%程度です。国・県からの地方交付税や補助金等の依存している割合が77%を占めています。

【1人当たりの貯金総額】12万円

一般会計平成21年度末現在高見込
98億6,053万円
を市民1人あたりにした金額です

【1人当たりの借金総額】58万円

一般会計平成21年度末現在高見込
468億5,538万円
を市民1人あたりにした金額です

支 出

職員の給料、手当てなどの人件費	10.7万円	22%
市債の返済費用（公債費）	7.3万円	15%
道路や施設の整備等、災害復旧費	7.8万円	17%
生活保護費、医療助成費などの扶助費	4.9万円	10%
電気、水道料、事務用品費	6.8万円	14%
下水道、病院、国民健康保険など他会計への繰出金	5.2万円	11%
各種団体への補助、火災保険料など	4.9万円	10%
中小企業向け融資やのぞみローンなど	0.5万円	1%
基金の積み立てなど	0.2万円	-
合 計	48.3万円	100%

支出は、人件費が22%、市債の返済が15%と義務的な経費の占める割合が大きくなっていますが、行政改革を進めた結果、年々減少傾向となっています。道路等の建設事業や災害復旧費は、岩手・宮城内陸地震による災害復旧事業が進んだ結果、対前年比で大きく減少しています。

資料編

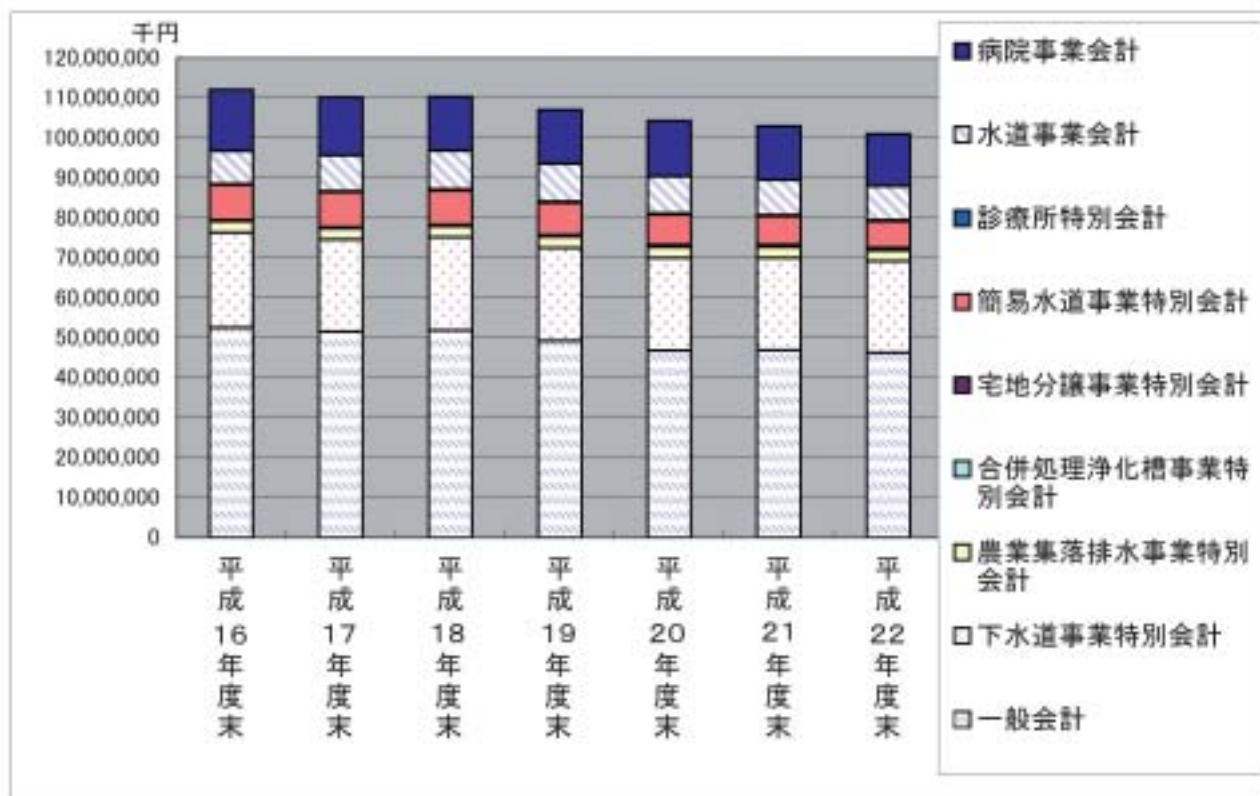
Q 市の借入額(市債)はどのように推移していますか？

市の借金残高は、平成17年度当初合併時で全会計1,121億円でした。平成21年度は、市道整備事業や防災行政無線デジタル化(栗駒・若柳・一迫・花山)、築館中学校校舎改築、災害復旧事業などの事業により73億円の借入れを行いますが、6年間(平成22年度末)ではおよそ110億円の減少となる見込みです。

借入額の中には、国の方針により交付税の前借として発行を避けられない「臨時財政対策債」79億円程が含まれており、これを除くと実質的な借入の減少額は190億円に上る見込みとなります。

今後も、新たに発行する借入のほとんどは、「過疎債」や「合併特例債」などの償還の一定割合を地方交付税に算入される有利ものを選択しながら事業の実施を行ってまいります。

※「臨時財政対策債」とは、国が地方自治体に交付する地方交付税が財源不足となった場合に、穴埋めとして地方自治体が地方債を発行する制度で、後年度の償還に要する経費は地方交付税で措置される仕組みとなっています。



(単位:千円)

	平成16年度末	平成17年度末	平成18年度末	平成19年度末	平成20年度末	平成21年度末	平成22年度末	H16-22 増減
一般会計	52,495,270	51,454,607	51,793,469	49,179,569	46,798,522	46,855,379	46,216,278	△ 6,278,992
臨時財政対策債を除く一般会計	45,081,687	42,495,595	41,560,964	37,916,606	34,765,104	33,416,713	30,879,052	△ 14,202,635
下水道事業特別会計	23,805,933	23,134,673	23,317,776	23,233,291	23,124,332	23,104,284	22,934,481	△ 871,452
農業集落排水事業特別会計	2,815,921	2,749,080	2,780,487	2,831,286	2,789,011	2,713,954	2,646,335	△ 169,586
合併処理浄化槽事業特別会計	263,419	307,683	358,785	430,523	520,182	555,010	644,494	381,075
宅地分譲事業特別会計	32,000	0	0	0	0	0	0	△ 32,000
簡易水道事業特別会計	8,822,741	8,794,382	8,533,170	8,034,748	7,509,873	7,123,021	6,881,013	△ 2,141,728
診療所特別会計	221,232	222,538	313,367	307,865	301,274	291,799	282,147	60,915
水道事業会計	8,213,313	8,944,459	9,657,597	9,455,815	9,282,814	8,794,258	8,501,882	288,569
病院事業会計	15,431,032	14,555,561	13,585,592	13,572,485	13,958,390	13,565,915	13,103,619	△ 2,327,413
合計	112,100,861	110,162,983	110,340,243	107,045,582	104,284,398	103,003,620	101,010,249	△ 11,090,612

※ 平成21年度末及び22年度末は、見込み額です。

資料編

◎問い合わせ先一覧表 議会

議会事務局	22-1170
-------	---------

総務部

総務課(市役所代表)	22-1122
人事課	22-1159
財政課	22-1115
管財課	22-1116
税務課	22-1121
危機管理室	22-1149

企画部

企画課	22-1125
市政情報課	22-1126
行政管理課	22-1127
市民協働課	22-1164

市民生活部

市民課	22-3211
環境課	22-3350
クリーンセンター	52-3080
くりはら斎苑	22-4121
衛生センター	33-2301
福祉事務所	22-1340
社会福祉課	22-1340
はげまし学園	22-1623
介護福祉課	22-1350
子育て支援課	22-2360
健康推進課	22-0370
高清水診療所	58-2020
瀬峰診療所	38-3121
鶯沢診療所	55-3511
花山診療所	56-2013
文字診療所	47-2008

産業経済部

農業政策推進室	22-2178
農林振興課	22-1135
畜産園芸課	22-1136
農村整備課	22-1138
田園観光課	22-1151
細倉マインパーク	55-3215
産業戦略課	22-1220

建設部

建設課	22-1152
建築住宅課	22-1153
都市計画課	22-1154

上下水道部

水道課	42-1130
下水道課	42-1133

会計課	22-1143
検査室	22-1160

医療局

医療管理課	21-5631
栗原中央病院	21-5330
若柳病院	32-2335
栗駒病院	45-2211

消防本部

総務課	22-1191
警防課	22-8510
予防課	22-1192
栗原消防署	22-8511
西分遣所	54-2120
東分署	32-2621
栗駒分署	45-2109
鶯沢分署	55-3119
南出張所	59-2119

教育部

教育総務課	42-3511
学校教育課	42-3512
教育環境推進室	42-3513
社会教育課	42-3514
文化財保護課	42-3515

栗原文化会館	23-1234
若柳総合文化センター	32-6600
図書館	21-1403

選挙管理委員会事務局	22-1122
------------	---------

監査委員事務局	42-1120
---------	---------

農業委員会事務局	42-1239
----------	---------

固定資産評価委員会	22-1122
-----------	---------

築館総合支所

築館総合支所(代表)	22-1111
市民サービス課	22-1111
産業建設課	22-1114
築館教育センター	23-1236

若柳総合支所

若柳総合支所(代表)	32-2121
市民サービス課	32-2121
産業建設課	32-2124
若柳教育センター	32-3121

栗駒総合支所

栗駒総合支所(代表)	45-2111
市民サービス課	45-2111
産業建設課	45-2114
栗駒教育センター	45-2225

高清水総合支所

高清水総合支所(代表)	58-2111
市民サービス課	58-2111
産業建設課	58-2113
高清水教育センター	58-2353

一迫総合支所

一迫総合支所(代表)	52-2111
市民サービス課	52-2111
産業建設課	52-2114
一迫教育センター	52-2115

瀬峰総合支所

瀬峰総合支所(代表)	38-2111
市民サービス課	38-2111
産業建設課	38-2114
瀬峰教育センター	38-2171

鶯沢総合支所

鶯沢総合支所(代表)	55-2111
市民サービス課	55-2111
産業建設課	55-2114
鶯沢教育センター	55-2111
細倉出張所	55-2035

金成総合支所

金成総合支所(代表)	42-1111
市民サービス課	42-1111
産業建設課	42-1114
金成教育センター	42-1115
萩野出張所	44-2001

志波姫総合支所

志波姫総合支所(代表)	25-3111
市民サービス課	25-3111
産業建設課	25-3114
志波姫教育センター	25-3231

花山総合支所

花山総合支所(代表)	56-2111
市民サービス課	56-2111
産業建設課	56-2114
花山教育センター	56-2331

※年の途中で事務所などの移動で、電話番号が変わる場合がありますが、その際には市の広報誌などで随時お知らせいたします。



ナブコシステム株式会社

『自動ドア』『ステンレスサッシ』のトップブランド

【設計・施工・販売・メンテナンス業務】 宮城 / 仙台支店 仙台市宮城野区新田東1丁目16-3 TEL: 022-783-8725

・大崎営業所 大崎市古川駅前大通5丁目2-45 TEL: 0229-21-9725

*ステンレスサッシ製作工場 / エヌ・エス・トート(株) 栗原市築館字新田20-2 TEL: 0228-23-1030

栗原の大地から
採れたての美味しさをお届けします



PALETTE
パレット

くりはら直売館
よさこい

もち小屋 どん

旬彩 わくわく

関村牧場 漢方牛肉

元祖 和点食堂

ホームページは
よさこいで検索

TEL0228-25-4155

栗原市築館照越永平1-1 営業時間 9:30~18:00 定休日 第3水曜日

石窯パン工房・欧風菓子
PALETTE
パレット築館本店
TEL. 0228-22-8010

石窯パン工房・欧風菓子
Boulangerie・Pâtisserie
La PALETTE
ラ・パレット古川店
TEL. 0229-24-8010

マカロン・ショコラ・ギフト
PALETTE nouveau
パレットヌーヴォ
TEL. 0229-91-0180

くりはら直売館
PALETTE
パレット
パレットよさこい店
TEL. 0228-23-1881

お昼の御膳

ちょっとしたお集まりにも
満てん寿司御膳 2,000円

祝
ご入学やご卒業、長寿のお祝いなど、さまざまなお祝いの席に心づくしのお料理で彩を添えます。

徳
大切な方々の集いの席に丹精込めたおもてなしで、故人を思いながら和みのひとときを…。

レディース席 1,500円

ご馳走ダイニング
満てん

TEL 0228-22-0078
各種ご宴会・ご予算に応じてご用意致します。

写真は3,500円のコースです。季節により内容は変更となります。

2,800円 (2,940円)
前菜 / お造り / 焼物 / 鍋物 / 酢の物 / 揚げ物 / 握り寿司

3,500円 (3,675円)
前菜 / お造り / 焼物 / 温物 / 酢の物 / 強肴 / 揚げ物 / 握り寿司 / デザート

※栗原市は自主財源確保のため、有料広告を掲載しています。

平成22年度
「栗原市のお金の出所と使い道」
(栗原市予算概要)

発行 宮城県栗原市 編集 栗原市総務部財政課 財政係
〒987-2293 宮城県栗原市築館薬師一丁目7番1号
TEL: 0228-22-1115
FAX: 0228-22-0312
E-mail: zaisei@kuriharacity.jp

この予算概要に関してお気づきの点がありましたら、気軽に財政課財政係までお寄せください。